

## 盛岡バスセンター整備事業の進捗状況について

令和3年4月23日  
商工労働部  
建設部  
都市整備部

### 1 現状及び経緯

盛岡バスセンター整備事業について、令和元年度に実施したRFQ（資格審査）、RFP（公募型プロポーザル）で選定された設計・建設事業者が設計及び施工の検討を進めてきたが、建設事業者が当初提案した工事費での施工が困難であるとして、盛岡ローカルハブ(株)（以下「Mo-cal」という。）と工事請負契約の合意に至らず、令和3年2月に（仮称）新盛岡バスセンター整備共同事業体から脱退した。

その後、Mo-calと設計事業者が検討した結果、RFP提案の設計では提案上限額以内での施工は困難であるとの結論に至ったため、設計内容を見直し、建設事業者を再募集するものである。

※（仮称）新盛岡バスセンター整備共同事業体

設計事業者：(株)ワークヴィジョンズ・中央コンサルタンツ(株)・(株)中居都市建築設計

建設事業者：菱和建设(株)・(株)カガヤ ※令和3年2月脱退

### 2 今後の対応

#### (1) 設計の変更

Mo-calの所有となるにぎわい施設部分（約 950,000千円：税込み）の設計を変更し、施工費の見直しを行う。

なお、盛岡市の所有となるバスターミナル等の公共施設（約 470,000千円：税込み）については設計変更を行わない。

#### (2) 建設事業者の再募集（RFPの再実施）

ア 当初のRFPと同様に、市の代理人である(株)盛岡地域交流センター（以下「MCC」という。）が建設事業者を再募集し、市及びMCCが構成する審査委員会での審査を経て、建設事業者を再選定する。

イ RFQ・RFPにおいて選定した設計事業者については、提案上限額内で契約が成立していることから、設計事業者とJVを組成することを条件とし、建設事業者のみを再募集する。

ウ 資格要件及び応募資格については、当初のRFPと基本的に同様とする。

（市税滞納がないこと、暴力団関係でないこと、甲業者を含むこと等）

### 3 スケジュール（予定）

4月23日（金） 全員協議会

26日（月） 建設事業者募集開始

5月26日（水） 建設事業者募集締切  
31日（月） 全員協議会  
6月 審査委員会  
工事請負契約締結（Mo-cal及び建設事業者間）  
7月 着工

※開業時期については，建設事業者再選定後に工程が明らかになり次第確定する。

R F Q…Request for Qualification

設計事業者が目的施設の設計を行うことが可能であることを審査すること。

R F P…Request for Proposal

R F Qを通過した設計事業者に建設事業者を加えたグループから提案された設計・  
施工に関して提案内容や実現性について審査すること。